

## 那珂川町議会議員

は る た

# 春田ともあき

**あなたの声を！  
あなたの思いを！  
町政に届けます！**



## 春田ともあき事務所

福岡県筑紫郡那珂川町中原 6-13-21-505

TEL/FAX : 092-952-1431

E-mail : haruta@ari.bbiq.jp

<http://haru3.net/>

これらの賞賛すべき点は多々ありますが、年間運営費約 5 億に対して授業料収入などのほか毎年約 3 億 3 千万円(国の地方交付税や町税から)支出して賄っている点や、築 50 年を経た校舎の改築費は約 25 億円が見込まれるなど資金面で、厳しい学校経営がつづいていました。

また、現在の進学志向を考え普通科を設定すると、新たに年間約 1 億 3700 万の教職員の人件費が必要となるなど生徒募集にも厳しい状況にありました。

行政改革のあらしが吹き荒れる昨今、平成 17 年に「那珂川町行政改革プラン 2005」において「一定期間内において方向の転換への見直しや成果が見られないと評価された場合は、学校法人化等を含む方向性についての検討」が示され、その後約 9 年間審議会の意見を聞きつつ、「女子商マルシェ」など特色ある教育プログラムの導入などが行われましたが財政負担軽減策などでの決め手に欠き、平成 26 年女子商運営審議会から「運営が困難な場合は廃校ではなく学校法人化を検討するよう」答申がなされました。

その後教育委員会で 11 回審議された結果も「学校運営の学校法人化」「可能な限り早期実施」が出されました。

現在町は教職員の処遇では正規職員は町職員としての身分は保障する。

希望者については、福岡県や学校法人で勤務できるように働きかけを行うとしています。

また、翠香会や女子商会等の関係団体については可能な限り意向を尊重しつつ配慮を行うと示しています。



今なら輝かしい歴史と現状でこの素晴らしい女子商を継続し運営する法人はいると確信します。

心情的に存続を望む事は理解できますが、この時を逃して継続運営が困難になってからでは、向かう道は廃校と考えると、今までこの学校を愛し支援してきた教職員、OG に失礼かと考え、学校法人化移管に賛成を致しました。

逃げない・ぶれない・わかりやすい議会活動 春田ともあき

■最後までお読み頂き感謝申し上げます。

ご意見、ご感想などございましたらご連絡下さい。

## 議会報告

### 平成 26 年第 3 回那珂川町議会定例会

会期 22 日間 (9 月 4 日から 9 月 25 日まで)

議案 33 件、認定 9 件、請願 2 件、意見書 1 件が上程され審議されました。

平成 26 年度一般会計補正予算 2 億 3 千 3 1 2 万円

主な議案のみご紹介致します。

- ①有害鳥獣駆除費が増額されます。
- ②庁舎の外壁改修工事が行われます。
- ③地域循環型かわせみバスが 2 台増車されます。
- ④一部の小中学校の土曜日教育活動が始まります。
- ⑤ミリカローデン那珂川の防災監視システムが改修されます。
- ⑥法人化に伴い女子商生徒授業料の 28 ~ 29 年度分補助が予定されました。

詳しくは、春田ともあきホームページ <http://haru3.net/> をご覧ください。

## 9 月議会の一般質問

### 「支援の充実を」

春田 以前提案していたサマースクール (学力アップ地域人材活用事業) 事業成果は。

部長 児童生徒の学力アップ、世代間交流の実現など様々な成果が上がっている。

春田 9 2 名いた不登校児童生徒、以前よりいくつかの改善策を提案していたが、現在の数は。

部長 小学生 2 名中学生 1 5 名、計 1 7 名。



春田 高機能障害からか授業中、教室を歩き回る児童生徒、特別支援学級の生徒が、通常学級で交流する際に、他の生徒の言葉がけで心を痛めたり、先生の言葉がけで戸惑ったりしているが。

部長 臨床心理士等特別支援教育に関する専門知識を有する方を活用し、町独自の研修会を検討したい。

春田 南中では特別支援学級で本の読み聞かせを行い、その子の持っている芸術性や才能を引き出そうとしているが効果は。

部長 情緒が安定し、表情がとともよくなる効果がある。

春田 特別な支援を必要とする子どもに対して町のリーダーである町長の考えは。

町長 教育委員会事務局と協議していきたい。



## ランニングマン春がゆく!

### 「女子商法人化！」



今から 64 年前、昭和 25 年当時、岩戸村・安徳村・南畑村 (現在の那珂川町) は交通の便が非常に悪く、農家の女子の高校進学は非常に厳しかったと聞いています。そこで 3 村が共同の組合校として福岡県立筑紫野高等学校岩戸分校 (のちの町立福岡女子商業高等学校) が岩戸小学校の倉庫を間借りして設立されました。

この 64 年の歴史を持つ那珂川町立福岡女子商業高等学校は、これまで多くの卒業生を輩出し、社会へ大きく貢献されたことは、誰もが認めると思います。

開校当初の女子生徒の高等学校の受け入れ体制、卒業して即就職できる女子高等学校としての役割は果たしてきたと考えられます。

バブル崩壊後の厳しい雇用情勢の中、過去から現在に至るまで、就職率は約 100%・進学率も約 100%と驚異的な数字を示し、部活動でもハンドボール部・サッカー部、あるいは簿記部が県大会や全国大会でも活躍し、珠算部においては長い間全国トップレベルを維持している点では学校関係者のご尽力や、女子商 OG のみなさまの支援がある素晴らしい学校と考えます。